

2023年9月29日

報道各位

ニューホライズン キャピタル株式会社

## 株式会社タカフジによる株式会社マテリアルデポットへの投資実行について

ニューホライズン キャピタル株式会社（本社 東京都港区、代表取締役会長 安東 泰志、以下「NHC」）が管理運営する、ニューホライズン 4号投資事業有限責任組合（以下併せて「弊社」）の投資先である株式会社タカフジ（本社 大分県大分市、代表取締役社長 佐藤 隆彦、以下「タカフジ」）は本日付で、株式会社マテリアルデポット（本社 大分県大分市、代表取締役社長 岸 博文、以下「マテリアルデポット」）への投資を実行いたしましたのでお知らせします。

タカフジは創業以来、地元である大分県を中心に大型プラントの機械据付、鋼製加工品・配管製作及び各種総合メンテナンス工事を手掛けてきました。近年は祖業のプラント工事から派生する形で、バイオマス発電プラントの建設・運営、バイオマス燃料（木質チップ・PKS（パーム椰子殻））の供給事業、下水汚泥や建設廃材のバイオマス燃料化事業、地熱を利用した農場運営事業等を展開し、脱炭素や循環型社会の実現に積極的に取り組んでおります。

マテリアルデポットは、1990年に設立されて以来、一般貨物輸送事業や倉庫事業を展開してきました。また、産業廃棄物の収集運搬にも注力しており、産業廃棄物処理業者との豊富なネットワークや保有する特殊車両を活用し、多くの事業者から産業廃棄物の輸送を引き受け、輸送を通じて廃棄物の再資源化に貢献しております。

本件投資によりタカフジとマテリアルデポットがそれぞれ培ってきた強みを組み合わせることが可能となり、産業廃棄物の再資源化、燃料化等の取組みがさらに加速されることが期待されます。このような取組みは、「持続可能な開発目標（SDGs）」の推進に大きく貢献しており、本件投資は、弊社の責任投資原則（ESG ポリシー）や「意義ある投資で新たな地平へ」という弊社の Purpose にも合致するものと考えております。

弊社は本件投資を通じた両社のシナジー実現に取り組むことで、両社の企業価値向上に尽力する所存です。

### ニューホライズンキャピタル株式会社について

2002年2月に創業した前身のフェニックス・キャピタル時代から、2006年10月の会社分割を経て、通算20年超の実績（独立系ファンドとしては最大規模の累積運用資産総額2,700億円超）を有する。現在は、ニューホライズンキャピタルとして6本目、創業から10本目のファンドを運営中。2002年以来、すべてのファンドの創設時にキーマン（主運用責任者）をつとめてきた安東泰志をはじめとするニューホライズンキャピタルのチームメンバーは、フェニックス・キャピタルにおいて、三菱自動車、ティアック、東急建設、不動建設、世紀東急工業、市田、ツムラ等、また、ニューホライズン1号から4号ファンドにおいても多数の投資を実行し、開示可能なエクイティー投資先だけで約50社、全体では100社超の日本随一の投資実績を有する。

この件に関する問い合わせ先：

広報担当（IFC）竹江、高杉 連絡先：03-5532-8921